

報道発表

令和6年7月19日
名古屋税関
豊橋税関支署

令和6年上半年分 三河港 貿易概況（速報）の要旨

輸出総額は1兆8,679億円（対前年同期比21.3%の増加、比率ベース：5期連続の増加）、輸入総額は4,048億円（同24.9%の減少、同4期ぶりの減少）であった。差引額1兆4,630億円（同46.2%の増加）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「鉄鋼」などが減少したものの、「自動車」、「船舶類」などが増加した。輸入は「鉄鋼」などが増加したものの、「自動車」、「金属製品」などが減少した。

地域別では、輸出は「北米」、「中南米」が増加、「西欧」は減少した。輸入は「西欧」、「アジア」が減少、「中東欧・ロシア等」は増加した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
三河港	1兆8,679億円	+21.3%	4,048億円	▲24.9%	1兆4,630億円	+46.2%
	5期連続の増加		4期ぶりの減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	1兆7,824億円	+22.0%	輸入	増加品目	(1) 鉄鋼	271億円	+34.8%
		(2) 船舶類	219億円	+74.5%			(2) 植物性原材料	26億円	+42.4%
		(3) その他の化学製品	160億円	+18.5%			(3) 織物用糸及び繊維製品	25億円	+16.2%
	減少品目	(1) 鉄鋼	213億円	▲26.2%		減少品目	(1) 自動車	3,422億円	▲28.4%
		(2) 非金属鉱物製品	2億円	▲62.0%			(2) 金属製品	12億円	▲60.2%
		(3) 荷役機械	27億円	▲11.1%			(3) 魚介類及び同調製品	11億円	▲43.1%
	地域別動向		北米、中南米が増加、西欧は減少				西欧、アジアが減少、中東欧・ロシア等は増加		

（参考）ドルレートは、150.89円（前年比12.5%、16.81円の円安）であった。

（注）年間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。